



中央図書館20年のあゆみと
帝国図書館初代館長・田中稻城展



朗読公演会



市政 PICK-UP

市民の知の広場として

平成6年7月1日に開館した中央図書館が、開館から20周年を迎えたことを記念し、同館で多数の記念イベントが開催されました。

6月29日には記念セレモニーが開かれ、中央図書館長の「市民の知りたいという要望にこれからは応えていきたい」というあいさつに続き、市民団体によるバイオリンの華やかな演奏が披露され、訪れた市民とともに節目の日を祝いました。

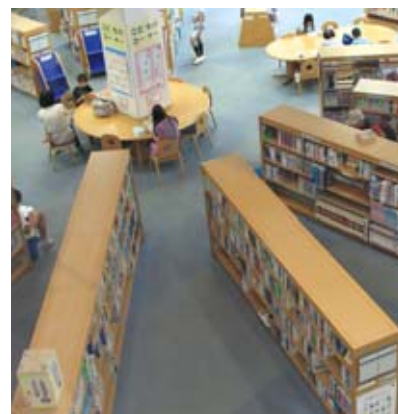
7月27日までの期間中、企画

中央図書館開館20周年

展や朗読公演会、いわくに歴史講座、小学生を対象にした手作り絵本教室など、市民の生涯学習や文化活動を手助けするさまざまなイベントが開催され、多くの市民が来館しました。

広域住民の社会教育と文化活動の拠点となる施設を目指して開館した中央図書館。市内7図書館1分室の中心として、求められる図書館の在り方を考えながら、より一層のサービス充実に努めています。

〒中央図書館 ☎0046



いざというときに備えて

6月25日、市と生活協同組合コープやまぐちは「災害救助に必要な食料・生活必需品等の調達に関する協定」を締結しました。市役所で行われた調印式で、福田良彦市長とコープやまぐちの岡崎悟理理事長が協定書を交わし、災害時の対応について意見を交換しました。

この協定は、災害が起きた際に、市の要請を受けて、コープやまぐちが物資を供給することを取り決めたもので、食料品や



▲調印に臨む福田市長(右)と岡崎理事長

協定書調印式

飲料水、ティッシュやマスクなどの生活必需品が対象となります。

調印を終えた福田市長は「災害時における食料や飲料水、生活必需品の確保は大きな課題であり、この協定で速やかな対応を取ることが可能になる」と期待を示し、岡崎理事長は「万が一の際には、行政と協力して皆さんの役に立てれば」と抱負を述べました。

岡崎管理課 ☎ 5119



▲調印を終え、笑顔で握手を交わす福田市長(右)と岡崎理事長

7月1日、地域おこし協力隊員として柱島群島地域に派遣される三宅雅人氏に、市役所で福田良彦市長から委嘱状が交付されました。

三宅氏は、下関市出身。関西地方でエンジニアとして活躍していましたが、離島での生活に興味を持ち、協力隊員に応募しました。

協力隊員は、地域社会の新たな担い手として、地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住



▲福田市長から委嘱状を交付される三宅氏(右)

柱島群島で地域協力活動

民の生活支援など、地域協力活動において活躍することを期待されています。

地域おこし協力隊員が赴任

福田市長から激励を受けた三宅氏は「島は高齢化が進んでいると聞いている。島の人のために何ができるのか、皆さんと話をしながら、しっかりと取り組んでいきたい」と抱負を述べ、その日のうちに柱島へ渡り、島民と親睦を深めるなど、早速、活動を開始しました。

岡市民協働推進課 ☎ 5012



▲7月4日に行われた自然体験教室で、柱島を訪れた児童の地引き網体験を支援